

ローズライフ

Rose Life Vol.22
冬 2015

新春号

ようこそ、ローズライフ京都へ。

京阪ライフサポート株式会社が京都で初めて手がける
同社三番目のホーム「ローズライフ京都」がオープンしました。
地域医療拠点の安心感と、屋上からは京の山なみを見渡せる恵まれた立地。
和の要素を取り入れた風情ある館内やご入居者へのサービスなど、
ローズライフシリーズの新たな想いをご紹介いたします。

ローズライフ
インタビュー

今村武夫さん
88歳
(大正15年生まれ)

今村美智生さん
86歳
(昭和3年生まれ)

見学に来てひと目惚れ、
ゆったり過ごせて幸せです。

美智生 私たちには子どもがいないので、いずれはどこかにお世話になるつもりでした。そしたらある日、主人が急に「おい、高の原へ行くぞ」って。

武夫 家内が家事が辛いと言うので、じゃあ食事の支度をしなくてもいい所に引っ越そうと。見学に来てその日のうちに部屋を決めました。ぐずぐず考えるのは嫌いでね。戦争中も現役の頃も船で仕事をしていたので、さっと判断して決める習慣がついているんですな。

美智生 私は昔から主人の決断を信頼しています。主人が計画する旅行はいつも大正解。

武夫 もう今は旅行には行きませんが、昔から囲碁が好きで、ここに来てからも楽しんでます。囲碁を習いたいという方に教えたりね。自称、素人二段です(笑)。

美智生 私はここで絵手紙を習っ



ています。料理も好きで、時々、自室で簡単なものを作ります。主人が「あーおいしかった」といってくれるのがすごくうれしいの。

武夫 ここはスタッフの気遣いが細やかで、とても満足しています。入居者の中には音楽を楽しんでいる方もおられますが、私は音楽が苦手ですね。まあ人生で一度ぐらいは歌ってもいいので、そのときは皆さんに聞いていただきますよ(笑)。

美智生 主人は無口で

すが、時々おもしろいことを言って笑わせてくれます。結婚して六十年以上たちますが、未だに恐れ入りますという時があつて飽きません(笑)。ここでは、頑張つて何かをするというより、二人でこうしてゆったり過ごせることがとても幸せです。(ローズライフ高の原 ラウンジにて)

京阪グループの「新しい介護付住宅」

ローズライフ京都 Rose Life Kyoto

西大路五条すぐ、京都市立病院北隣に 新築OPEN!

常に介護を必要とされる方に...

ホーム見学会 1/11(日) 24(土) 2/8(日) 21(土) 10:30~/14:30~

☎0120-381-602

ローズライフ 🔍 検索

京都市中京区
壬生東高田町1番23

KEIHAN
京阪ライフサポート

和の趣があるホーム、京の山なみも一望。



屋上庭園からの景観

「ローズライフ京都」の館内は、和紙の風合いを活かした間接照明や格子など、落ち着いた間接照明やインテリアです。屋上庭園も見晴らしが良く、東の比叡山、西の愛宕山、そして北山まで一望できます。五山の送り火も大文字、左大文字、舟形の三つを見ることが出来ます。

居室は九十室あります。一階にラウンジや多目的ホール、機能訓練室や足湯、ヘアサロンなどの共用施設を集め、六階には約四十二㎡のミニキッチンのある広めの居室を配置、二〜五階は約二十㎡のお部屋です。各階にはゆつたりとしたラウンジが



約42㎡の広い居室(6階)



ラウンジ(1階)



京都の三大祭をモチーフにしたタピストリー「華・都・雅」

あり、檜の個浴も設置しています。ご入居は要介護認定を受けていらっしゃる方が対象です。日常的に医療処置が必要な方も遠慮なくご相談ください。隣に協力病院の「がくさい病院」があり、ホームとの間に専用の出入り口も設置していますし、救急受診ができる京都市立病院も目の前ですから、心強く感じています。ただけるのではないのでしょうか。

夢を作り、叶えるお手伝いをいたします。

「ローズライフ京都」は、「一緒に夢を作り、持ち続け、叶えることを支援します」がコンセプトです。その日その日を、ただ安全・安心に過ごすだけではなく、前向きに暮らしていたりするためのお手伝いをいたします。毎日を生き生きと暮らすためには何か「楽しみ」を持つことが大切です。ですから食事やレクリエーションにも工夫を凝らし、ご満足いただけるものにしようと計画しています。

食事は京都の旬の味わいを大切に、できるだけ地産地消の美味しいものを召し上がっていただきたいと思っ

ただければ嬉しいですね。ここは単にお世話をしたりされたりする場所ではありません。ご自身が望まれる暮らしを実現し、さらに新しい夢を持っていただくための住まいです。介護・看護はもちろん、お一人おひとり、が人生の最期の瞬間まで、自分らしく尊厳をもって暮らしていただけるよう、職員全員で支えてまいります。



ローズライフ京都外観



ローズライフ京都
計画作成担当
介護支援専門員・看護師
吉田裕吹さん

ローズライフ京都 京都市中京区壬生東高田町1番23 お問い合わせ:0120-381-602

阪急京都線・嵐電「西院駅」、JR嵯峨野線「丹波口駅」より徒歩約10分。JR・近鉄「京都駅」からバス約10分、「市立病院前」バス停より徒歩約3分。

いきいきコラム

22

暮らしの点検

グッズや動作を工夫して 畳や床、こたつでの生活を 楽しみましょう。

高齢者の中には椅子やベッドより畳での生活を好まれる方も多く、特にいまの季節は、こたつでゆっくりしたいと思われる方が多いのではないのでしょうか。
畳や床での生活を快適に過ごすには、ふたつのポイントがあります。ひとつは腰などに負担の少ない姿勢で座ること。もうひとつは安全な動作で動くことです。



京阪ライフサポート株式会社
ローズライフ事業部 しんどう はなえ
ケア事業部 次長 眞藤英恵
理学療法士。病院、在宅訪問で高齢者ケアと健康増進に携わり、2003年入社。現在に至る。

正座は腰などへの負担は少ないですが、膝に負担がかかりますので「正座椅子」が便利です。正座椅子でお尻を少し上げて座ると、背骨が正しい位置に保たれ、上半身の自由度が高まります。筋肉に余分な負担がかからないので疲れにくく、肩こり、腰痛の予防にもなります。

動作で気をつけたいのは座り方です。お尻か

らドシンと座ると転倒と同じくらいの衝撃になる場合があり、骨折の原因にもなりかねません。テーブルなどで体を支え片膝ずつついて座ったり、四つん這いになってゆっくり座るといいですね。また、立ち上がりの際には置き式の支えがあると便利です。布団派の方の起き上がりにも役立ちますよ。

畳や床で快適に過ごすことができれば、生活の幅を広げることも繋がります。安全な暮らしを工夫して、自分の好きな空間でくつろぎながらお過ごしいただきたいと思います。

京のお菓子歳時記「冬」

「春風や どら焼さげし 東寺道」 弘法さんの「どら焼」

毎月二十一日は弘法大師の月命日。東寺には弘法市がたち、多くの参拝客で賑わいます。江戸末期、笹屋伊織五代目当主が東寺の僧侶の副食として、熱した銅鑪どろの上で焼いたどら焼。こしあんをもっちりとした生地で何層にも巻き、竹の皮に包んだ棹状のどら焼は、皆さまのご存知のものとは、似ても似つかぬ笹屋伊織の代表銘菓です。(文 十代目女将)



毎月20・21・22日の
限定販売
1棹1512円(税込)

創業享保元年 京菓子司 笹屋伊織
京都市南区吉祥院池田町35 TEL.075-692-3622
※本店改装中のため、上記の本社・南店にて営業中。

京都探店 お京都・寿司 おおきに

体に優しい物だけを提供したいという想いから、養殖魚は使わず野菜も有機野菜を採用。にぎりの一貫、一貫に異なる薬味が添えられ素材の味を引き立てます。名物の穴子にぎりをはじめ、取り寄せてできる鯖寿司、甘鯛の棒寿司、旬の京野菜の漬物寿司もお勧め。選び抜かれた地酒や樽酒とともに、京寿司ならではの旨い！を実感してください。



京都市中京区御前通り松原下ル東側 TEL.075-323-1172
昼/11:30~14:00(オーダーストップ)
夜/17:30~21:30(オーダーストップ)
定休日:毎水曜日(祝日は営業、月1回火・水連休)

